

事務事業評価シート(事後評価)

事業コード 6-2-1	事務事業名 子育て相談・地域交流事業	所管部課 子育て支援部 保育課
----------------	-----------------------	--------------------

事務事業の概要	事務事業の目的		根拠法令等
	本事業は、地域子育て支援センターを拠点とし、子育て親子の交流等を推進し、地域の子育て支援機能の充実に努め、子育ての不安感を緩和し、子どもの健やかな育ちを支援することを目的とする。		<input checked="" type="checkbox"/> 法律 <input type="checkbox"/> 条例・規則 <input type="checkbox"/> 政令・省令 <input checked="" type="checkbox"/> 要綱・要領
	事業内容・実施方法等／補助の概要：補助団体の概要(団体名・団体の活動内容・補助金の活用内容等)、補助金の概要(国・都基準の有無・対象者拡大の有無・上乗せ補助額・市単独補助額)等 ※該当する予算事業名・節目を明記する		
	【事業内容・実施方法等】 市内の公立保育園のうち5か所(けやき、なかまち、ひがし、やぎさわ及びすみよし保育園)を基幹型保育園として位置付け、地域子育て支援センター事業を実施し、在宅で子育てしている又はこれから子を持つ家庭における支援として、子育て親子の交流の場の提供と交流の促進、子育て等に関する相談・援助の実施、地域の子育て関連情報の提供及び子育て支援に関する講習、講座等を実施している(月曜日から金曜日の午前9時30分から午後4時30分まで)。また、基幹型保育園以外の公立保育園、児童館・児童センター、コミュニティーセンター、公民館において出前事業を実施している。 (予算事業名:03.02.04.05(2) 子育て相談及び地域交流事業)		
事業開始時期	平成18 年度	実施形態	<input checked="" type="checkbox"/> 直営 <input checked="" type="checkbox"/> 委託 <input type="checkbox"/> 補助 <input type="checkbox"/> その他 ()

事業費データ	項目		単位	25年度	26年度	27年度	28年度
	財源内訳	事業費(A)			1,274	1,266	980
国庫支出金・都支出金			18,550	24,842	24,842	24,842	
地方債		千円					
その他 ()							
一般財源			-17,276	-23,576	-23,862	-24,033	
所要人員(B)		人	10.00	10.00	10.00	10.00	
人件費(C)=平均給与×(B)		千円	79,360	82,110	79,360	82,990	
臨時職員賃金等(C')		千円					
総コスト(D)=(A)+(C)+(C')		千円	80,634	83,376	80,340	83,799	
単位当たりコスト							
(E)=(D)/ (相談件数)		千円	29	25	29		

活動等指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度
①	相談件数	実績値 件	2,817	3,392	2,783	
②	出前事業数	実績値 件	61	63	62	
《指標の説明・数値変化の理由 など》						
成果指標		単位	25年度	26年度	27年度	28年度
一次	年間延べ利用数	目標値				
		実績値 人	28,400	30,501	31,905	
二次	年間相談延べ件数	目標値				
		実績値 件	2,817	3,392	2,783	
《指標の説明・数値変化の理由 など》 年間延べ利用件数は、当該年度に地域子育て支援センター事業を利用した児童及び保護者の総数 年間相談延べ件数は、当該年度に地域子育て支援センターが受けた相談の総件数						

事業環境等	市民・関連団体等の意見 (アンケート結果など)	「リフレッシュ、交流や友達づくり、子育て相談ができる。」などが利用者の主な利用理由となっており、利用満足度は非常に高い。(西東京市地域子育て支援センター利用者アンケート結果について(平成26年6月実施))	
	都内26市のサービス水準との比較 (平均値、本市の順位など)	<input type="checkbox"/> 上 <input checked="" type="checkbox"/> 中 <input type="checkbox"/> 下	設置箇所は保育園内に限らないが、地域子育て支援拠点(一般型)は、26市中22市が実施。22市平均設置箇所数は4.7箇所であり、設置箇所数が多い八王子市及び町田市を除く20市平均では3.8箇所である。
	代替・類似サービスの有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無	子育ての相談や情報提供、子育て中の親子の交流、遊び場の提供を行なう施設として、のどかひろば、ピッコロひろば、児童館・児童センターがある。

【一次評価】

検証項目	ランク	一次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<p>事業の取組についてのアンケート結果からは、利用ニーズが高い一方で、地域子育て支援センターまでの距離やアクセスなどの利便性について、低い評価となっている。そのため、地域施設と連携した出前事業を増やすといった取組を実施している。</p> <p>保育園内にセンターを設置するメリットとしては、日常的な施設の利用や園の行事に参加する中での専門的な相談や支援が可能なことや、孤立しがちな家庭を地域に繋げる場としての機能を提供できることなどがある。また、同年齢の園児を見ることで、子どもの育ちの見通しを確認でき、子どもへの対応の多様性について認識する場ともなっている。さらに、各種講座等を実施することで、専門的かつ具体的な相談や支援による、継続的な対応が可能となっている。</p> <p>本事業は、見守りや保護が必要な家庭を早期発見できるという役割も担っており、要保護児童対策協議会(未就学部門)では、子ども家庭支援センターのどかや健康課などと、地域の子育て家庭への支援や事業の充実についての意見交換や情報共有を行い、充実を図っている。</p> <p>今後は、妊娠期から就学前までの切れ目のない支援として、より一層の事業の充実を図っていきたいと考えている。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	3	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	3	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	3	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【二次評価】

検証項目	ランク	二次評価	○検証項目、評価の判断理由 ○事業実施上の課題や今後改善すべき点等
A	事業の優先度(緊急性)	2	<p>本事業は、孤立しがちな子育て家庭を地域に繋げる場となっており、保護が必要な家庭の早期発見や支援、他の関係機関との連携など、子どもの健やかな育ちと子育て支援を実施している点は評価できる。</p> <p>ただし、他の公共施設で行っている出前講座が利用者のアクセス等に配慮されているのかといった点や、配置バランス、地域子育て支援センターと子ども家庭支援センター「のどか」、又は児童館等との専門分野や位置付けの違い等について、各機能の方向性を整理するとともに、カリキュラムについての相互補完等については、再度検討されたい。</p>
	事業の必要性	2	
	事業主体の妥当性	2	
B	直接のサービスの相手方	2	
	事業内容等の適切さ	2	
	受益者負担の適切さ	3	
C	市民ニーズの把握	3	

検証項目の見方 A:事業実施の意義を検証する項目 B:事業の内容・実施方法を検証する項目 C:市民ニーズの反映度を検証する項目

【外部評価】

外部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	(対象外)

【行革本部評価】

行革本部評価	評価の判断理由及び事業実施上の課題や今後改善すべき点等
<input type="checkbox"/> 拡充 <input checked="" type="checkbox"/> 継続実施 <input type="checkbox"/> 改善・見直し <input type="checkbox"/> 抜本的見直し <input type="checkbox"/> 休止 <input type="checkbox"/> 廃止	<p>市内の公立保育園のうち5か所の地域子育て支援センター(基幹型保育園)で実施されている子育て相談・地域交流事業は、子育て家庭を地域と繋げるとともに、保護が必要な家庭の早期発見などにおいても重要な取組となっている。</p> <p>本年3月に策定した総合戦略では、「妊娠期からの切れ目のない支援事業」として、子育て家庭の応援や支援等を位置付けており、今後も身近な場所で相談できる仕組みづくりは重要と認識をしている。二次評価で指摘されている点や利用者ニーズ等を踏まえつつ、効果的かつ利便性の高い事業となるよう推進を図られたい。</p>

【改善の方向性・スケジュールと改善実施にあたっての課題】

改善の方向性・スケジュール	<p>◇平成29年度 他課で実施している子育て相談等との役割や連携等について、検討する。</p> <p>◇平成30年度 「子育て・子育てワイワイプラン」の中間見直しにあわせて利用者ニーズ調査を行う。</p> <p>◇平成31年度 利用者ニーズ調査の結果や、「子育て・子育てワイワイプラン」の中間見直し検討等を踏まえ、より効果的かつ利便性の高い事業となるよう見直しを行う。</p>
---------------	---